

社会科(地図)調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○地図帳に親しみをもたせ、日常的な活用を促すとともに、学習問題の解決に向けた情報の収集、活用、整理等、効果的に活用していく力を育てるために、どのような配慮がなされているか。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料の活用の仕方など、地図帳を活用する知識・技能を身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○効果的な地図の活用として、社会的事象を適切に見たり、それを基に考えたりする能力を育てるため、どのような工夫が見られるか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○児童が興味・関心や問題意識を高め、意欲的にできるようにするため、どのような工夫が見られるか。</p> <p><地図・資料の特徴></p> <p>○基本図や資料図などは、それぞれ新しい信頼できる資料に基づいて作成され、社会的事象についての理解や思考を深めるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○児童が第4学年から第6学年まで長期間使用することに耐えうる強固さがあるか。</p>
	資 料	<p>○学び方や調べ方を身に付ける学習や作業的、体験的な学習を促すために、資料はどのように提示されているか。</p> <p>○資料の取り上げ方は、児童の発達の段階を踏まえ、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○索引など、活用を図るために、どのような配慮がなされているか。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○児童の課題意識を高めるために、表記・表現はどうか。</p> <p>○児童が親しみ意欲的に活用するために、表記・表現はどうか。</p> <p>○色彩・配色を含め、土地利用の様子や等高線(高さ)などはどう表現されているか。</p> <p>○割り付けにはどのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい地図帳 東京書籍</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領の目標や内容を踏まえ、適切な資料に基づいて効果的に提示されている。地図が複数配置され、日本の位置及び範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて理解できるようになっている。歴史や文化・伝統に関する内容を充実させ、国土と歴史に対する理解が深まるよう配慮した構成となっている。</p> <p>○方位、距離と縮尺、等高線、地図記号などの基本的な地図指導の内容、地球儀の活用の仕方がおさえられている。また、日本と世界の地図においては各学年の発達段階に応じて、関連する資料などとともに効果的に配列されている。総合的な学習の時間や他の教科にも活用できるような構成となっている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「地図帳の使い方」では、地図記号・索引・方位・縮尺・地形表現・土地利用といった基本的な地図の読み方が示されている。</p> <p>○地球儀の活用について実際に活用している場面の写真を使い説明している。世界の主な大陸と海洋・主な国の名称と位置・我が国の位置と領土の提示などにおいて、読図のポイントが示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○巻末の「日本の自然災害」で過去に起こった災害や、災害に備える国や地域の取り組みをのせ、社会的事象について考え、判断することができるようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「地図帳の使い方」や「世界全図と地球儀」についてのページでは、児童が自ら学び地図や地球儀を活用できるようになっている。各図の着眼点や課題、ヒント等をキャラクターが台詞で示し、児童が自ら気付き考えられるようにしている。</p> <p>○統計資料、索引が充実し見やすく配置されている。索引にはチェック欄やマインデックスが設けられ、過去に調べたことを確認できるようになっている。</p> <p><地図・資料の特徴></p> <p>○基本図は、国土地理院発行の100万分の1の地形図をはじめ、最新の情報を収集して掲載し、資料図に提示した統計図についても最新のデータを用いている。また、A4判の装丁のため、地方別の地図が広域になっている。</p> <p>○地域の主な農林水産物、伝統工業や歴史・文化・自然遺産については地図中にイラストで示している。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○地図帳の使い方・読み取り方・活用の仕方に関する資料を載せ、主体的な学習を促す工夫がされている。</p> <p>○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、発達の段階に応じた指導ができるよう赤、黒の2色で色分けして示されている。</p> <p>○統計資料は、日本の各都道府県と世界の国ごとに示され地方、地域別に色分けされている。</p>
	<p>表 記・表 現</p>	<p>○陸地の高さは5～10段階、海の深さは3～7段階に色分けされ、大都市周辺の地図では土地利用の様子が8色で表現されている。</p> <p>○人物キャラクターの吹き出しにより、課題やヒントが与えられている。</p> <p>○日本および世界の地域地図では、その地図が全体の中のどの辺りを示しているのが表されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○都道府県の区分や地図帳の使い方が巻頭にあり、発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっている。○A4判であることを生かすために、地図の周囲に配置するイラストや主題図を厳選し、表示している。○後半の資料ページでは自然環境や産業、歴史、世界との結びつき、各種統計、災害と防災に関するコーナーをまとめて設けてある。○基本図や地域地図のページには社会科の学習に関連する資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">楽しく学ぶ 小学生の地図帳 帝国書院</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領の目標や内容を踏まえ、適切な資料に基づいて効果的に提示されている。領土・領空・領海の概念について解説があり、写真を併載し、日本の領域が理解できるページが設けられている。日本で起こりうる災害を例示し、そこから身の回りの防災と自らの行動について考えられるような構成となっている。</p> <p>○方位、距離と縮尺、等高線、地図記号などの基本的な地図指導の内容、地球儀の活用の仕方がおさえられている。また、日本と世界の地図においては、各学年の発達段階に応じて、関連する資料などとともに、効果的に配列されている。総合的な学習の時間や他の教科にも活用できるような構成となっている。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「地図帳の使い方」では、地図記号・索引・方位・縮尺・地形表現・土地利用といった基本的な地図の読み方が示されている。</p> <p>○巻頭の「日本の都道府県」では、47都道府県の特徴、名称と位置について作業的な学習ができるようになっている。地球儀の活用について、実際に活用している場面の写真を使い説明している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○巻末の「地震・火山の災害と防災」では、過去に起こった災害や災害に備える取り組みをのせるとともに、防災マップづくりの手順を示している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○統計を多数取り上げることで様々な学習と関連付けて学習できるようにしている。キャラクターどうしが互いに教え合いながら資料の読み取りや索引を活用する場面を掲載している。</p> <p>○各学年の社会科で学ぶ地域や都市、世界遺産については主題図や写真を掲載し児童が自ら調べ学習で活用できる構成となっている。</p> <p><地図・資料の特徴></p> <p>○基本図は、国土地理院発行の100万分の1の地形図をはじめ、最新の情報を収集して掲載し、資料図に提示した統計図も最新のデータを用いている。自然エネルギーを使用した大規模な発電所がわかる記号が設けられている。</p> <p>○地域地図のページには、特色ある地域の鳥瞰図や絵地図、写真等を合わせて掲載している。</p>
<p>資 料</p>	<p>○地図の成り立ちや使い方、読み取り方等を示し、地図帳導入期の指導に配慮した構成の工夫がされている。</p> <p>○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、赤・青・黒の3色で色分けして示されている。</p> <p>○統計資料は、日本の各都道府県と世界の国ごとに示され、地方・地域別に色分けされている。</p>
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○山地は立体的に描写し、土地利用の様子を4～5種類の色で表現されている。また、陸の高さ・海の深さは1～7段階で色分けされている。</p> <p>○人物キャラクターの吹き出しにより、課題やヒントが与えられている。</p> <p>○日本および世界の地域地図では、その地図が全体の中のどの辺りを示しているのが表されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○都道府県の区分や地図帳の約束事、地図帳の使い方が巻頭にあり、発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっている。○後半の資料ページでは自然環境や産業、歴史、世界との結びつき、各種統計、災害と防災に関するコーナーをまとめて設けている。○基本図や地域地図のページには社会科の学習に関連する写真やイラスト、鳥瞰図、用語の説明などの資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。○全ページにインデックスがある。</p>

社会科（地図）調査資料 2

○ 内容別ページ数・地図数

内 容	ページ数		地方・地域 全体を表す 地図の数		地方・地域 の一部を表 す地図の数		資料図の数		写真	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
巻頭										
・地図・地図帳の使い方	4	6	/	/	/	/	15	16	4	4
・都道府県の学習	2	3	/	/	/	/	0	0	0	0
日本										
・全体	14	8	5	3	9	6	2	9	17	5
・九州地方	4	4	1	1	4	4	0	1	0	0
・中国地方	2	2	1	1	1	3	0	2	0	0
・四国地方	2	2	1	1	0	1	0	1	0	0
・近畿地方	6	4	1	1	4	3	0	2	3	0
・中部地方	6	4	1	1	3	1	1	4	0	1
・関東地方	7	9	1	1	5	3	0	9	3	7
・東北地方	3	3	1	1	0	1	0	1	0	1
・北海道地方	2	4	1	1	2	3	0	6	0	1
・日本とそのまわりの国	1	3	1	1	0	0	0	1	4	7
世界										
・大陸と海洋	2	2	2	2	0	0	1	2	8	6
・全体	3	3	1	1	1	1	0	1	0	4
・アジア	3	3	2	2	0	0	0	0	0	3
・アフリカ	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2
・ヨーロッパ・ロシア	2	3	2	2	1	0	0	0	0	3
・南北アメリカ	2	4	1	1	1	3	0	0	0	5
・オセアニア	2	1	1	1	0	0	0	0	2	1
統計資料等										
・自然環境	2	2	/	/	/	/	9	9	2	2
・資源や産業	6	3	/	/	/	/	21	19	6	4
・歴史	2	2	/	/	/	/	3	6	13	13
・日本の統計表	3	3	項目数		東書23		帝国51			
・世界の統計表	3	1	項目数		東書17		帝国16			
索引	10	6	総索引数		東書2198		帝国2031			
総 数	94	86	24	22	32	29	52	89	62	69

※ 2 ページに 4 地方が渡っている場合は、0.5 ページで加算した。

※ 「地方・地域全体を表す地図」の例としては、関東地方全体が示されている地図、アジア全体が示されている地図など。

※ 「地方・地域の一部を表す地図」の例としては、埼玉県の地図、東京都中心部の地図、アメリカ合衆国の地図など。

※ 「資料図」は、主題図、(分布図、土地利用図など)、鳥瞰図、イラストマップ、断面図などとし、各地方の位置図、国旗、キャラクターなどは含めない。